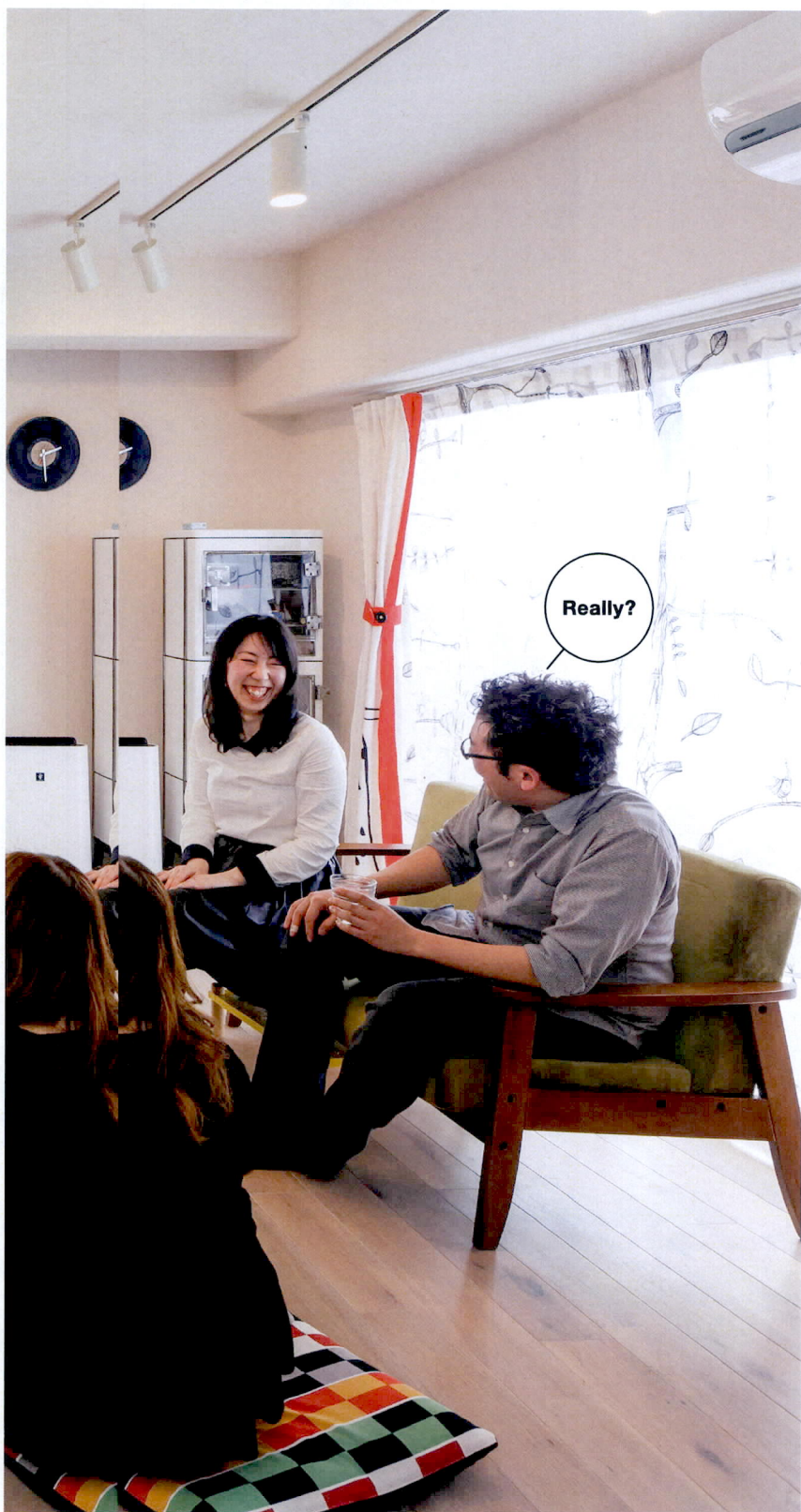


CASE 2

大勢のゲストを招くので 間仕切りでワンルームになる間取りに

〈大阪府・Sさん〉



WELCOME TO MY HOUSE! — CASE
1
2
3

Welcome to My House!



右 吊り戸を開めた状態のLDK。くつろぐためのソファのみでテーブルを置いていないので十分に広く、子どもが走り回って遊べる
左 パーティーのときはT字型の吊り戸を開け放って2つの個室をLDKに取り込み、さらに広く、リビングは何人でもテーブルを囲める床座スタイルで、揃いの2つのテーブルは来客用で、ふだんはバルコニーの物置に収納している

●当原稿は色見本ではありません●
ご確認いただいている原稿は、印刷物ではありません。実際の印刷に極力近い形で出力を心掛けてはありますが、プリンターや色指定(データ)の種類、出力のタイミングなどにより色調・書体などが若干異なって見える場合がございますのでご了承ください。

記載内容につきましては
サイン
すべて確認しました

ノンブル記入欄

初校済

出力ファイル名
KA08_1 特_もてなしハウス_NoI_CS5_5.eps

個 室を仕切る吊り戸を全開。Sさん夫妻は人を招くときいつも、家全体をパーティー会場として開放している。ホワイトを基調にした室内は2方向からの光を取り込んでいっそう明るく、差し色としてSさんが好む赤がキッチンやカーテンできれいに映える。

「リフォームを前提に中古マンションを買いましたが、広さ重視で選びました。可能な限りワンルームに、ダーンと広い空間にしたかったからです」

もちろんそれは、人を呼ぶため。パーティーに限らずBBQや花火大会など大勢で集まるイベントが好きなSさんには、ごく当然で、なおかつ絶対の条件だった。

とはいえ個室も必要なので、リフォーム会社が提案したのが今の間取り。LDKと主寝室と子ども部屋の3室を吊り戸で仕切り、シーンに応じて、1LDK、2LDK、ワンルームと使い分けられるようにした。ベッドやテーブルなどの家具を置かない主義なの



●当原稿は色見本ではありません●
ご確認いただいている原稿は、印刷物ではありません。実際の印刷に極力近い形で出力を心掛けてはおりますが、プリンターや色指定(データ)の種類、出力のタイミングなどにより色調・書体などが若干異なって見える場合がございますのでご了承ください。

記載内容につきましては
サイン
すべて確認しました

●当原稿は
ご確認いた
てはありま
すが若干異
なるとが

初校済

出力ファイル名
KA08_1 特_もてなしハウス_No1_CS5_6.eps



で、開け放せば希望どおり広々と抜けのあるワンルームになる。「食事はキッチンに造作した対面カウンターでとりますが、あとは基本的に床でくつろぐ生活。寝るのも布団が好きなんです」開放感が気持ちよくて戸を開けておくことが多いが、寝るときには寝室の戸を閉める。おもちゃなどで部屋が散らかっているときも、子ども部屋に片付けてさっと閉めれば急な来客にも対応できるそう。

パーティー好きなのでキッチンも重視した。広さも見た目も使い勝手も満足できるものにと、鏡面仕上げの赤のシステムキッチンに大きな対面カウンターを造作。「オープンなのでみんなが自然と立って手伝ってくれますし、私自身、最初のサーブが済んで座ったらゲストやホストの別なくくつろいでいます(笑)」(妻)

「広いので大勢でも窮屈感がなく、好きなメンバーと好きな場所に移動もできて、長いこと飽きずに楽しめる」と、まさにパーティー会場のようなSさんの家だ。

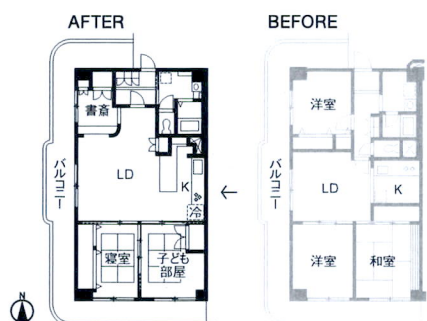


WELCOME TO MY HOUSE! — CASE 1 2 3

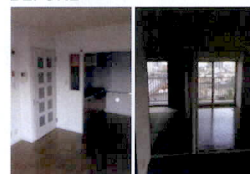
家で仕事をすることも多い夫のために設けた書斎(上)。玄関側にあるので大勢のゲストが集まる時は荷物置場など予備室としても使用している(下)。リビングに面した壁には窓を開け、双方が見えるようにしてある

REFORM PLAN

玄関側の洋室や廊下を削ってできるだけLDを広くし、独立型だったキッチン(写真右)をオープンに。元の和室と洋室(写真右)は活かす形で間仕切りを吊り戸にし、可変性のある間取りに。同じ3LDKだがまったく異なる住まいに生まれ変わった



BEFORE



DATA

家族構成 // 夫(36歳) + 妻(31歳) + 長男(3歳)
種別 // マンション・築34年
延床面積 // 70.40㎡
リフォーム面積 // 70.40㎡
リフォーム費用 // 約760万円
工期 // 約2カ月
設計・施工 // アンメゾンワールド

●当原稿は色見本ではありません●
ご確認いただいている原稿は、印刷物ではありません。実際の印刷に極力近い形での出力を心掛けてはおりますが、プリンターや色指定(データ)の種類、出力のタイミングなどにより色調・書体などが若干異なって見える場合がございますのでご了承ください。

記載内容につきましては
すべて確認しました

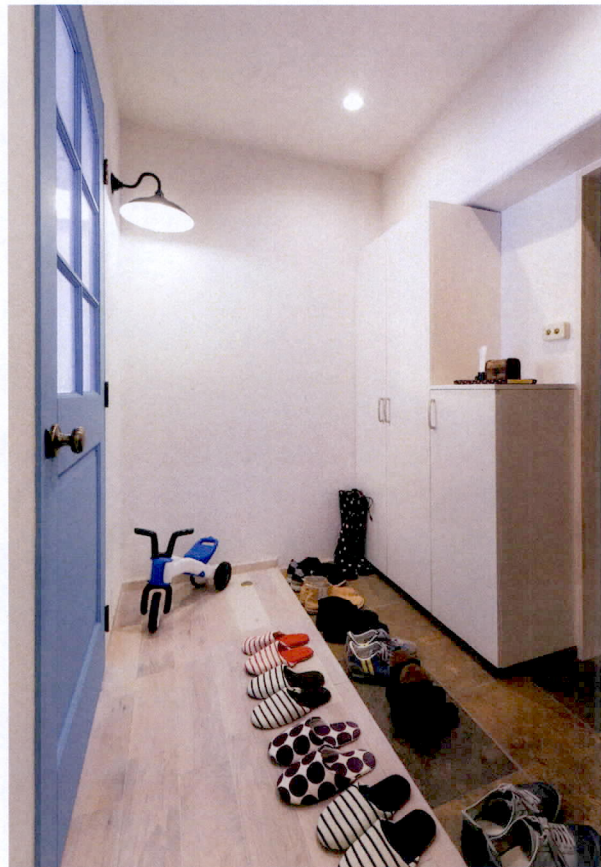
初校済

出力ファイル名
KA08_1 特_もてなしハウス_NoI_CS5_7.eps

ノンブル記入欄



深く鮮やかな赤のキッチンが夫の見立て。油ハネ等が気になるので壁付けにし、作業台とダイニングテーブルを兼ねた対面カウンターを造作。パネルはステンレスにして見た目を美しく、レンジメモも貼れるようにした。食器棚等を置かず、済むよう収納はパントリーを設けて確保



リフォーム前のおよそ2倍に広げ、収納も造作して、大勢の来客に対応できるようにした玄関。三和土はレンガ調のタイル。ゲストはまずここでしゃれたブルーのドアとブラケットに迎えられる

床座の生活スタイルなので寝室(右)と子ども部屋(左)は中央に琉球畳を入れた。フローリングとの連続性を損なわず、異なるカラーの組み合わせでモダンに仕上げている。両室ともに戸を閉め切れば完全な個室になり、来客中のこどものお昼寝などに便利。LD側の戸だけを閉めて2室をつなげて使ったり、どちらか1室をLDとつなげて使ったりもできる



座卓は視点が低くなるので室内がより広く感じられる。床はオークむく材を白く塗装、壁は珪藻土のラフ仕上げ。全体に明るいナチュラルテイストの中、ドアのブルーやキッチンの赤をアクセントに。ゲストも飲み物などを気軽に取り出せるよう、冷蔵庫はLDからアクセスしやすい位置に置いた

WELCOME TO MY HOUSE!
CASE
1
2
3

RI
玄
だ
き
元
形
の
ま
わ

●当原稿は色見本ではありません●
ご確認いただいている原稿は、印刷物ではありません。実際の印刷に極力近い形での出力を心掛けてはありますが、プリンターや色指定(データ)の種類、出力のタイミングなどにより色調・書体などが若干異なって見える場合がございますのでご了承ください。

記載内容につきましては
サイン
すべて確認しました

●当原稿は
ご確認いた
たてはありま
どが若干異

初校済

出力ファイル名
KA08_1 特_もてなしハウス_No1_CS5_8.eps

ノンブル記入欄